

日本の金融市場はトランジションボンドが合っていると思うわ



先行するカナダ市場をみてみましょう

2021年のカナダの移行債券市場における タクソノミーの発展と発行の可能性 (TAXONOMY DEVELOPMENTS AND ISSUANCE POTENTIAL IN CANADIAN TRANSITION BOND MARKETS IN 2021)

IIAC LETTER(カナダ投資産業協会レター)

https://iiac.ca/wp-content/uploads/Taxonomy-Developments-and-Issuance-Potential-in-Canadian-Transition-Bond-Markets-in-2021_February-2021.pdf

文書はカナダ投資産業協会 (IIAC) が作成したのね



そうよ。
目的は、カナダの債券市場で移行債を拡大することよ

グリーンボンド発行の特徴を簡単に教えて



いまのカナダは、収益をグリーンに使用する債券が最も一般的な資金調達形態なのよ。
ただ、グリーンボンドについては、グリーンボンド財務情報のリーダーとして認められているClimate Bonds Initiative (CBI) によってさらに分類されていて、取引は認定グリーン、CBI基準を満たすラベル付きグリーン、CBI基準を満たしていないラベル付きグリーンに分類されるわ

2020年のグリーンボンド発行状況は？



CBIによると、2020年上半期を通じて、グリーン債の発行額は921億米ドルだったわ。これは、2019年上半期に発行された約1,250億米ドルの74%程度ね。
2020年上半期に発行されたグリーン債券は23の異なる通貨で取引され、これらの50%以上がユーロ建てだったわ。COVID-19のパンデミックによって中国のパンデミック債券が出現し、2020年3月と4月に発生した混乱を考えると、減っても驚かないわね

グリーン債の発行状況は？



主にヨーロッパ、北アメリカ、およびアジアと幅広く発行されていて、ヨーロッパのシェアが圧倒しているわ

投資先は？



世界的に見て、2019年には、再生可能エネルギーと低炭素ビルへのプロジェクト投資が依然としてグリーンボンドファンドの最大のシェアを占めているわ。
ただし、輸送や配水等他の用途が、収益の合計29%まで伸びているのよ。将来的には、さらに様々なプロジェクトに資金が提供されることでしょう。廃棄物、土地利用、および適応への投資は、これらの分野のプロジェクトに対してより明確な権限が示され、支持されるにつれて増加するでしょう

将来的にはどうなるの？



最終的には、グリーンボンドの発行は、借入金利、市場の流動性、投資家の欲望、規制要因、社会的責任投資の優先順位など、現地の市況に合ったプロジェクトに多様化され、差別化されるんじゃないかしら

みんな同じじゃ、つまらないしね～



ところで、カナダの市場は？



グリーンボンドの発行においてかなり存在感を示しているけど、中国、米国、ヨーロッパの大規模な発行者と比較すると、依然として比較的小規模なプレーヤーばかりね。
カナダの発行者数社は、2019年と2020年にグリーン債を国際市場に投入することに成功したけど、国内投資家は引き続き主要な買い手であり、カナダのグリーン債を多く購入しているわ。投資家の一部は、国連の責任投資原則(PRI)に署名し、独自の責任投資ガイドラインを持っているわよ

具体には？



2019年には、金融会社、企業、政府機関の間で発行が適切に行われていたわ。カナダドル、USドル、ユーロ通貨を組み合わせたものもあったわ。注目すべきは、2019年初頭に10億€のCPPIB取引であり、これまでにグリーン債を発行した唯一のカナダの年金基金による2回目の発行だったわ。オンタリオ州は、国内のグリーンボンド発行において他のすべての発行者を引き続きリードしているけど、他の発行者も徐々に追いつこうとしているわ。今、オンタリオ州とケベック州のグリーンボンド発行は、州全体の資金の3%未満よ。このシェアは2020年もほぼ同じくらいよ。同様に、オンタリオ州とケベック州のグリーン供給に対する資金調達要件は、市場が認知するにつれて、従来の流動性のある債券ベンチマークから乖離して、グリーン市場シェアは拡大する余地があるのよ

背景はなんとなくわかったわ



本題の移行債について教えて



そうね。この文書は、2021年のカナダ移行債発行の可能性とその後の債権市場の成長について説明しているわ。課題は、移行債がさらに広く受け入れられ、統一されたタクソノミー、定義、データ報告システムを開発する必要があるという点ね



グリーン債と移行債の発行やパートナーシップを拡大し、これらの発行の収益によって資金提供される投資プロジェクトを特定する方法を特定するための努力が国内で続けられているわ。グリーン債の継続的な開発、特に移行債市場の発行と成長が必要ね。移行債券の収益は、持続可能な資金調達イニシアチブの終了から除外された炭素集約型産業のプロジェクトを含む、カナダ全土の多様なプロジェクトに資金を提供するための代替資金源を提供するわ。これは、カナダの炭素排出削減目標にとって非常に有益で、世界の平均気温上昇を2°Cに制限するというIEAが掲げる炭素排出目標に貢献するわ

なるほどね





世界的に温室効果ガスの排出を減らし、最終的には逆転させなければならないという差し迫った状況にあるという認識で一致しているわ。グリーンボンドは、この目的をサポートする移行資金を調達するための重要な手段になっているわ。
グリーン、社会的、持続可能な債券市場が成長するにつれて、この資金調達の対象となる活動の種類も成長しているのよ。気候変動に対応した債券市場も急速に拡大し、進化しているけど、温室効果ガスを大量に排出している者は、ブラウンからグリーンへ、そしてさらに気候にやさしい二酸化炭素排出削減に移行するための資金調達はうまくいっていないわ。
これらの企業や産業が金融市場に関われることで、投資家はグリーン活動の変革に資金を提供し、短期的にはグリーン移行の目標を支援できるのよ



これらの企業は、これまでグリーンファイナンス市場では重要ではなかったけど、最終的にCO2排出量を削減する上では重要な役割を果たす可能性があるわ。
さらに、これらの企業や産業の多くは、現在、無数の投資家にとって投資ポートフォリオにおいて重要な地位を占めているわ

グリーン債の場合は？



収益をプロジェクトに割り当てる方法について、十分に開発された基準があるわ。
適格なプロジェクトは、明確な環境上の利点を提供する必要があって、プロジェクトは通常、定義された特定のカテゴリに分類されるのよ

じゃあ、移行債は？



ガイドラインが作られていて、移行債からの収益は、グリーン債で見られるものと同様の開示内容が必要よ。

AXA Investment Managersは、確立されたグリーン債原則に類似した最初のガイドラインを公開したわ。彼らは、収益の使用、プロジェクトの評価と選択のプロセス、収益の管理と報告を始めたわ。

移行債券ガイドラインの開発はいくつかの関係者によって開発されてるけど、カナダで総意を得るには、公開され、議論され、構築される必要があるわ

移行市場取引の例は？



移行債券取引の数は限られており、残念ながら、移行活動の条件が満たされていないわ。その結果、投資家は、移行債の堅固で普遍的に採用されている業界標準と指標の欠如(グリーンウォッシング)のリスクは、一部の投資家にとって深刻な問題よ



表は、過去数年間に行われたいくつかの移行債券取引の概要よ。

「これらのほとんどは気候緩和の目的に重点を置いていて、多くの場合、より広いSDGsにリンクしていて、いくつかの取引は明示的に「移行」とラベル付けされているわ。

でも、「グリーン」とタグ付けされているものの、「移行」関連する数十の取引が市場に出回っているわ

発行者	ラベル付き	部門	収益の利用	評価
Cadent	移行	ガス販売	メタン漏れ	グリーン/移行
EBRD	緑化	開発銀行	エネルギー効率	グリーン/移行
ENEL	SDG	電力会社	全般	グリーン/移行
Marfring	持続可能な移行	牛肉加工	倫理的な牛肉の購入	なし
Orsted	グリーン	石油・ガス	再生可能エネルギー	グリーン
Repsol	グリーン	石油・ガス	エネルギー効率	なし
SNAM	気候変動対策	ガス販売	多様なエネルギー効率	移行

出典：CBI

グリーンウォッシュリスク？



使用されている/または使用される予定の移行ラベルが、既存の非グリーン活動をわずかに改善させただけの活動まで含めている場合、グリーンウォッシングであると疑われる可能性があるわ。

この場合、これらの移行投資は、パリ協定に沿った移行経路に準拠していないかもしれないわ



これらの改善が、CO2総排出量の削減に、あまり影響を与えない状況を回避するには、明確な定義とデータ収集手順を実施する必要があります、検討中の様々なプロジェクト間の一貫性を高める必要があるわ。

これらの課題は、グリーン債市場でも経験し、時間の経過とともに、堅固な基準、定義、タクソノミーが調整されてきたのよ

移行債はグリーンウォッシュを背中合わせね



でも必要な市場よ。移行および関連するラベルは、野心的な移行を試みている業界および企業にのみ関連付けられ、確立されたグリーンラベルへの付随および強化として、ある程度の注目を集めているわ。

移行市場が成長するにつれて、従来のグリーンファイナンスから除外されてきたこれらの新しい産業のために、共通の科学的に信頼できる枠組みを開発し続ける必要があるのよ

どうやって市場を作っていくのかしら



出発点として、AXA投資マネージャーが発行した移行債のガイドラインを検討するのよ。このガイドラインは、確立したグリーン債の原則に似ていて、簡単に説明しましょう

は～い



- ・資金の使用：調達された資金は、エネルギー、輸送、重工業を含むけどこれらに限定されない移行関連の活動を伴う、事前に定義した気候に合わせてプロジェクトに資金投入する必要があるのよ
- ・プロジェクトの評価と選択のプロセス：
AXAに従い、投資家は、適格な投資とは何か、適格基準とは何か、資産の選択に使用されるプロセスの明確で簡潔な説明を受ける必要があるわ
- ・資金の管理：資金が指定された適格な目的に割り当てられ、資金の使用が継続的に確認できる確信がなければならないわ
- ・報告：資金の使用に関する最新情報の透明性と可用性が重要よ。詳細な影響評価も利用が可能で、移行プロジェクトでは年次監査報告を通じて外部認証を取得する必要があるわ

移行プロジェクトの実行はどうやるの？



明確で広く合意された移行手順が必要ね。さらに、疑念を晴らすだけじゃなくて、最終目標を定義しないとね。また、IEAと整合し、パリ協定のより広範な目標資産と一致する必要があるあって、定められた目標の達成に向けた実際の進捗状況を測定して、意味のある正確なデータを収集するという献身的な努力も必要なのよ。
資金が長期間に渡る枠組みだから、関連する費用を調整して正当化することが難しい場合には疑念を晴らすことは難しいかもね



カナダ規格協会(CSA)は、「現在、カナダの低炭素経済への移行に合わせてGHG排出量を削減することを目的とした活動の分類を含む、移行金融に関するカナダの国家基準を策定している。7つの優先セクター：i)石油・ガス(上流、中流、下流の公益事業)、ii)公益事業(エネルギー生産)、iii)農業、iv)林業、v)輸送(大型車両に焦点を当てる-鉄道、航空、トラック輸送)、vi)材料(セメント、鋼、ガラス)、vii)鉱物採掘。これは、既存のタクソノミーと手引き、特にEUタクソノミーに基づいて構築される。」と述べているわ

移行金融タクソノミーの文書は2020年夏に発行される予定だったわよね



移行の問題、タクソノミー、測定可能なデータについて総意を得ることが難しく、文書発行は2021年に延期されたのよ

壁は厚いわね



国際標準化機構(ISO)も国際グリーンボンド基準を策定中よ。ISO 14030は2021年に完成させる予定よ。標準は「適切なローカル分類法を参照し、メタまたはグローバル分類法を確立しないため、移行の原則とその結果として生じる移行手順がそれらの分類法に自動的に組み込まれる」ような計画らしいわ



このアプローチの理想的な結果は、全体的なアプローチに一貫性があるけど、カナダ特有のエネルギー・資源部門等、特定の国固有の要素が除外されないことね



過去数年間にいくつかのラベル付き移行債の発行があったけど、トランジションの一貫した定義はなかったわ。
これらの将来の移行資金調達への信頼性、受容性、そして最終的には環境への影響を強化するために行う必要のある改善点は以下の通りよ

3項目あるのね



- ・企業による開示の強化
- ・一貫性のある均一なデータ測定
- ・タクソノミーと定義について合意

じゃあ移行の枠組みを作り上げる方法は？



カナダと世界の究極の目標は、広範囲のゼロエミッション経済活動を行うことで、誰もが同意するでしょう。
だけど今日、ゼロエミッションで実行されている活動はごくわずかよ。一部の企業の高炭素排出は、時間の経過とともに低排出またはゼロ排出の解決策を制定する可能性はあるけど、他の部門では、現在の技術では現実的に解決できないわ。
信頼できる移行措置の可能性のある例示を表にまとめると次のとおりよ

行動の種類	活動を脱炭素化するための措置	長期経済の一部ではない活動からの移行への措置
ゼロに近い	風力タービンのより効率的なモデルへの置き換え	該当なし
ゼロへの道	住宅用不動産の大幅な改修グリーンアンモニアで稼働する船舶の改修鉄鋼製造施設へのCCSの設置セメント製造用の窯電化衣料品製造での100%リサイクル材料の使用への切り替え	該当なし
ゼロへの道はありません	最大のバイオ燃料または合成燃料の組み合わせで運用するための航空会社の艦隊の改造	該当なし
暫定	残留廃棄物のみを処理する廃棄物発電プラントでのガス回収の設置化石燃料ベースのプラスチックからボトル入りミネラルウォーターの生産における堆肥化可能な代替品への切り替えガスパイプラインでのガス漏れを回収して利用する	サーキュラーエコノミーが十分に確立され、残留廃棄物が最小限に抑えられたときに、エネルギー施設への廃棄物を早期に閉鎖する
座礁	閉鎖された埋め立て地からのガス漏れの捕捉と利用[これらの投資は、取り残された活動を移行する必要性や要望のためではなく、2030年までに世界の排出量を半減させる機会を最大化するために認識されていることに注意すること]	石炭火力発電所の早期廃止措置
有効化	低排出セメントと鉄鋼を使用した新しい建設資材の製造技術の研究開発	該当なし

出典 : CBI

なるほど。
じゃあ移行債とかの改善が必要な業種は？



持続可能な資金調達のための主な目標は、単にグリーンプロジェクトのための資本を調達するだけではなく、すべての発生源からの温室効果ガス排出量の削減を最大化することであるという考え方を必要があるわね。

この目的のために、石油とガスの生産をより環境に優しい方向へ移行することを含めて、最大の効率改善を達成することができるわ。カナダでは、推定で、すべての炭素排出量の25%以上が石油・ガスの生産活動を通じて排出されているらしいわ



これまでグリーンファイナンスから除外されてきた産業やビジネスのグリーン移行を促進する方法を模索し、支援する必要があるわ。これには、より環境に配慮したビジネス慣行を実施するために、材料、化学物質、貨物、航空を含む温室効果ガス (GHG) 集約型産業を取り込むべきね。

国内で開始する努力が必要である一方で、この問題は本質的に地球規模の問題であるという認識になりつつあるわ。パリ協定で概説されている世界平均気温の上昇を2°Cよりもはるかに低く制限するという目標を達成するため、全ての業界を挙げて進めるべき取り組みなのよ

業界の動きはどうか？





現時点で、潜在的な移行セクターに分類される多くの業界からは、これと言った重要な提示は無いわ。
でも、世界の金融市場は、移行債の発行に関して、悪化している業界に潜在的なグリーン移行の検討を始めているわ。移行債の資金調達のために一般的に受け入れられている定義は無いけれど、取り組みは進んでいて、いずれ実現するでしょう

がんばれ～



移行努力している企業であると認められるには、短期的・長期的に既存の活動に対して大幅かつ測定可能な排出削減を示す必要があるわ。やがて、これらの企業は、環境に配慮し、パリ協定に沿った活動に移行すると認知させるのよ。
移行市場が成長し成熟するにつれて、投資家は、移行ラベルが付けられた活動が望ましい排出削減効果を達成して、その活動を第三者によって評価・確認されていると企業に理解してほしいと思うでしょう

グリーンへの移行に投資する価値があるってことね？



最後にまとめると？



そうね。まとめと次の展開も話しておきましょう



移行債が勢いを増し、カナダおよび海外で重要な発行を確認するには、信頼できる移行プロジェクトをサポートすることに重点を置いて、広く受け入れられる枠組みとタクソノミーを開発するための推進力が求められるわ



移行債券市場の急速な成長をサポートすることは、市場に定量化可能なESGを組み込んでいけることに大きな期待を寄せているわ。信頼できる測定可能な基準とデータ収集は投資家が要求し、引受人に明確さを、発行者に誠実さを与えるわ



資金の使用は、現在のグリーンボンド原則によってグリーンとして分類されたプロジェクトに資金を投入する必要は無い代わりに、移行産業とプロジェクトに小さな一歩でも関わることで、結果的に持続可能なグリーン活動を促進していくことになるわ



投資家、第三者の格付け機関、政府、および一般の人々が、大量にCO2を排出する者に資金を提供し、低炭素経済への移行を促し、それに貢献することを受け入れることは、移行債が認知されるための必須条件よ。
これは、クリーンまたはグリーンプロジェクトにのみ資金を提供することから一歩前に踏み出すことになるわ



移行の概念は、関係者全体または特定の活動に次の基準で適用できるわ



- ・会社全体が移行途中の場合、ラベルは関係者全体に適用できるわ。これを文書化して企業のすべての取引を証明する方法を決定することは、まだ初期段階では複雑で難しいわ
- ・特定の活動については、データを収集し、同様の原則に従い、資産担保証券 (ABS) や収益債の使用などの同様の種類の債券を使用する方がはるかに簡単ね。これらの概念は、大きく成長しているグリーン債券市場で熟成していて、可能な場合は初期の移行債券市場に適用することができるからチャレンジすべきね

次の展開は？



- ・IIACは、移行債WGに代表されるメンバーファームと引き続き協力し、カナダのグリーン及び移行債券市場を促進するために購入機関からの意見を求めましょう。このグループは、包括的な一連の推奨事項を作成し、CSA及びカナダの他のグループとの連携に努めるわ
- ・2020年11月16日に仮想ESG及び移行債券会議が成功した後、IIACは再びメンバーと協力して、2020年秋に2回目のESG及びグリーン債券会議を行うわ
- ・IIACは、国際的な発展との繋がりを維持し、グリーン及び移行債券の分野で発生する重要な情報を広め、その作業部会と委員会の助けを借りて、カナダへの影響が何なのかを見つけるでしょうね

付録：移行の概念に関するCBIの有益なガイダンスの要約

欧州委員会の技術専門家グループ(TEG)は、持続可能な金融のEUタクソノミー(推奨EU分類)に関する勧告を発表した。欧州委員会はこれを、2020年末までに規制で採用し、2021年末までに適用されるEUタクソノミーの基礎として使用する。

加盟国とEUは、措置を採用する際にタクソノミーを適用する必要がある(例：「環境的に持続可能な」として提示されたラベルまたは基準の設定)。同様に、金融商品(債務、ローン、株式投資)を提供する金融市場の参加者は、それらの商品のコンプライアンスとその基本的な活動をタクソノミーに開示する必要がある。同様に、非財務報告指令(NFRD)の対象となる大企業及びグループは、コンプライアンスを開示する必要がある。

推奨するEUタクソノミーは、現在、気候変動の緩和、気候変動への適応、水管理、循環型経済、生態系保護、汚染の防止と管理という6つの環境目標に取り組んでいる。財務的には、これらの目的の少なくとも1つに実質的な貢献をもたらし、他の目的に重大な害を及ぼさず、最小限の社会的安全装置を尊重する場合、タクソノミーに準拠する。

その意図は、6つの環境目標すべてに拡張し、より具体的な社会的目標を組み込むことである。7つのマクロセクターに跨る70の経済活動の基準スクリーニング：(i) 農林業、ii) 製造業、iii) 発電、iv) 上下水道、廃棄物および修復、v) 輸送、vi) 情報通信、vii) 建設及び不動産。これらの経済活動の適格性はそれぞれ、それ自体の実績、または下流での大幅な緩和を可能にするために分類される(例：風力タービンのメーカー)

70の活動のうち、これらの活動は2050年の経済にとって重要であり、2050年までにネットゼロカーボン経済への移行に寄与するというTechnical Expert Groupの見解に基づいて、「移行活動」としてもフラグが立てられる。

現在、それ自体はネットゼロの炭素排出レベルに近く、炭素を大量に消費する資産やプロセスに縛られることなく、業界平均を超えてパフォーマンスを大幅に向上させる必要がある。したがって、これらの活動のスクリーニング基準は定期的に改訂され、時間の経過とともにゼロに近づく。

これらの34の活動は、「ゼロへの道」および「暫定」活動として分類される一連の活動をカバーしている。それらには、製造業におけるセメント、鉄鋼、アルミニウムの生産、高排出の再生可能エネルギー源(水力、地熱、バイオエナジーなど)からの発電、農業生産、建物、輸送が含まれる。

これらの一部について、TEGは、低炭素の解決には現在利用できないが、それでも「移行活動」として認識し、今日適用できるスクリーニング基準を決定するために次の2つの原則を採用している。

1. ネットゼロの目標と矛盾する資産の固定がないことを保証
2. セクターの平均をはるかに超える環境パフォーマンス

分類法規則では、欧州委員会がすべてのスクリーニング基準を定期的に見直し、特に「移行活動」を少なくとも3年ごとに見直すことを義務付けている

EUグリーンボンド基準案は、

- i) 可能な場合はEUタクソノミーと一致するようにそのような債券の収益を使用すること
- ii) 発行理由だけでなく、発行者がその戦略がEUグリーンボンド基準の環境目標とどのように一致するかを示すことを要求している

この規格では、発行者の戦略を説明するために使用される可能性のあるKPIやその他のマーカーは指定されていない

全国レベルでは、中国人民銀行(PBoC)は、

2015年に、銀行間債券市場(中国で発行されたグリーン債の90%以上を占める)を対象としたグリーンボンド承認プロジェクト一覧の初版を発行した。2016年1月、中国のマクロ経済管理機関である国家発展改革委員会(NDRC)は、社債の発行を対象とした別の一連のグリーンボンド指針を発表した。中国は2018年に、一覧の次の版から「石炭のクリーンな利用」を除外することを示したが、これは確認されておらず、除外されるかどうかは不明である

カナダ規格協会は

現在、次の7つの優先セクターについて、カナダの低炭素経済への移行に合わせてGHG排出量を削減することを目的とした活動の分類を含む、移行金融に関するカナダの国家基準を策定している。

i) ガス(上流、中流、下流の有用性)、 ii) ユーティリティ(エネルギー生産)、 iii) 農業、 iv) 林業、 v) 輸送(大型車両に焦点を当てる-鉄道、航空、トラック輸送)、 vi) 材料(セメント、鉄鋼、ガラス)、 vii) 鉱物採掘

これは、既存のタクソノミーと指針、特にEUタクソノミーに基づいて構築される。Canadian Transition Finance Taxonomy文書の初版は、2020年の夏を対象としたCSA Express文書として公開される(2021年に公開される)。この文書は、国家標準の開発の基礎として使用される

ISOは

ISO14030として知られる国際グリーンボンド規格を定義する検討をしている。この新しい標準は2021年頃に利用可能になると予想される。この段階では、標準は適切なローカルタクソノミーを参照し、メタまたはグローバルタクソノミーを確立しないため、移行の原則と結果として生じる移行経路がそれらのタクソノミーに自動的に組み込まれるようだ。Climate Bonds Initiativeは、ISO14030起草委員会のメンバーである

国際資本市場協会(ICMA)は、グリーンボンド原則(GBP)の事務局を主催している。GBPは、産業と環境要因を横断するグリーンボンドの収益カテゴリーの10の適格な使用を識別する

これらは i)再生可能エネルギー ii)エネルギー効率; iii)汚染の防止と管理 iv)天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理 v)陸域及び水域の生物多様性の保全 vi)クリーンな輸送; vii)持続可能な水と廃水管理 viii)気候変動への適応 ix)環境効率の高いおよび/または循環型経済に適合した製品、生産技術およびプロセス x)グリーンビルディング

これらのカテゴリに特定のスクリーニング基準または同等のものではなく、「取り残された」活動を含む、スペクトラム全体の活動に適用できる。

したがって、グリーンボンドの原則に沿っていることが確認された多くの「移行債」が批判を集めていることは驚くべきことではない(ただし、一部の投資家もこれらの取引の支持を表明していることに留意)。

GBPは、債券発行者が環境の持続可能性に関連する発行者の包括的な目的、戦略、政策、および/または過程の環境内でプロジェクトの選択に関する情報を配置することを奨励している。

ただし、GBPの全体的なアプローチに沿って、それらの目的と戦略がとるべき野心の形式やレベルについての指針は提供していない。これは、時間の経過とともに変化する可能性がある

最近結成されたGBP Climate Transition Finance Working Group (Climate Bonds Initiativeがメンバー)の委託条件には、発行者にとって信頼できる移行戦略の要点と、戦略と支出の一貫性をどのように証明できるかを検討することが含まれ、そして適切な移行活動を攻略するために既存のGBPに何かを追加する必要があるかどうかを尋ねる。この作業には、関連する移行手順と指標の検討が含まれる。WGは、2020年の間にいくつかの関連する成果を発表するらしい。

GBPは最近、持続可能性にリンクされたKPIを検討するためのWGを立ち上げた。移行の質問と完全に重複することはないが、2つの問題は密接に関連していると認識されることがよくある。一部の関係者は、1つのタイプの商品(収益の使用とKPIリンク)が1つのタイプの債券ラベル(移行またはグリーン)に良くも悪くも適合すると思っている。

気候関連財務情報開示に関するFSBタスクフォース(TCFD)は、企業が調整された気候関連財務情報を開示するのに役立つ推奨事項を作成した。これは、投資家が気候変動のリスクが最も高い企業と、そのようなリスクを管理するための準備方法を決定するのに役立つ。

このような情報は、気候関連リスクが適切に最小限に抑えられた、低炭素で気候に適応した基盤に移行するための企業移行戦略の重要な基盤として役立つ。TCFD自体は、GHG排出量、エネルギー、または水に関連する移行または物理的リスクに重大なリスクにさらされている非金融部門および業界を特定したが、これらのリスクを最小限に抑える可能性のある移行手順については敢えて調べてはいない

グローバル・コンパクトは、

企業が資本市場を利用して持続可能性イニシアチブに資金を提供し、SDGsへの資本配分を増やすのを支援するために、SDG投資とSDG債券を主流化するためのロードマップを作成した。

この議論に特に関連するのは、座礁資産への言及と、これらの資産からの秩序ある移行がどのように達成されるかである。

ロードマップは、そのような資産の潜在的なオプションは、古い資産の転用、資産廃止、労働力の再教育である可能性を示している。これは、取り残された活動に従事する企業の移行戦略に情報を与える可能性がある

Climate Action 100+イニシアチブは、

気候変動に対して必要な行動を取るために、世界最大の企業群の温室効果ガス排出者の取締役会および上級管理職からの言質を確保することを目的とした投資家イニシアチブである。

このイニシアチブが焦点を当てている企業には、CDPによると世界の年間産業GHG排出量の最大2/3を占める100社と、クリーンエネルギー移行を推進する重要な機会があると投資家からフラグを立てられた他の60社が含まれる

Transition Pathway Initiative (TPI)は

現在、全カテゴリーの9つの産業部門の炭素性能ベンチマークを提供している。具体的には、

石油とガス；電気事業；自動車；航空会社；セメント；鋼；アルミニウム；印刷；運送

これらの基準には、次の3つのシナリオに沿った排出量の履行の軌跡が含まれている
→ パリ協定/NDC； 2°C； 摂氏2度未満

これらの業種の企業は、これらの基準に対して評価されている

持続可能性会計基準委員会 (SASB)は、

2018年11月に、抽出及び鉱物処理、その他のいくつかの製造部門、金融、運輸、基盤整備、サービスを含む11の部門の77の業界を対象とする基準を発表した。

この規格の問題の領域は、環境、社会資本、人的資本、ビジネスモデルと技術革新、リーダーシップと企業統治をカバーする。

SASBは、11の幅広い業界のそれぞれに影響を与える可能性のある持続可能性の側面を特定するために、マテリアリティマップを公開している。

マップは、重要ではない可能性が高い各業界の問題について、50%の企業にとって重要であり、50%を超える企業にとって重要であると定めている。標準を使用している企業は、分析者が企業を比較するのを支援するために、ESG及び企業活動ごとに分類されたレポートを作成する

例えば、石油とガスの採掘のGHGは、GHGの統合されたスコープ1排出量であると報告している。一時的な排出量と、抽出または輸送に使用される機器からの排出量には、別々の指標がある。企業は、スコープ1の排出量を管理し、これらの目標に対する実行状況を分析するための今後の戦略について話し合うよう求められる。

SASBの指針では、閾値や基準、または企業の基準の遂行の道標を示していない

エネルギー移行委員会(ETC)は、

エネルギー生産者、エネルギー利用者、機器供給者、投資家、非営利団体、先進国・途上国の学者等、エネルギー業界全体のリーダーの団体である。

2018年11月、ETCは報告書「使命の可能性：世紀半ばまでに削減が困難な業種からネットゼロカーボンに到達する」を発表。詳細な報告書は、セメント、鉄鋼、プラスチック、海運、高速道路、航空部門を含む。ETCの作業は、他の関係者が脱炭素化のための業界の道筋を開発するために使用できる元データとして特に役に立つ。

目標達成の付属書は、需要の予測、需要管理(消費者側)と再利用の機会及び脱炭素化の技術的手段に基づいて、6つ部門の道筋を確立しようとしている。例えば、セメントの付属書では、新しいセメント化学、炭素貯留、燃料としてのバイオマスの使用、及びこれらの各オプションの規模における実際的な課題が説明されている技術が含まれている。

排出量を削減するための各技術の範囲、技術が成熟する可能性のある時間枠、技術またはビジネス慣行を実装するために消費者が負担する費用がどの程度かを示してくれる

英国を拠点とする気候変動に関するグローバル投資家連合(GICC)は、

地域のカウンターパート(Ceres、IGCC、AIGCC)と協力して、不動産、建設資材、鉄鋼、石油・ガス、自動車、電力会社、鉱業など多くのブラウンの業種に焦点を当てて指針を作成した。

企業統治と開示に焦点を当てたアプローチをして、投資家が望む変革のレベルとペースも明らかにする。現在のベストプラクティスと、将来の可能性と変化の速度に関する洞察を提供するための代替技術/方法についても言及している。

また、投資家の観点から、排出量改善のための事業体レベルの戦略に含める必要のある情報の種類の詳細も提供する。これは、それらの戦略の信頼できるマーカーの開発に役立つ可能性がある。以下に示すと、

- ・TCFDの推奨事項に沿った開示
- ・取締役会レベルでの証拠は、会社の戦略がパリ協定の目標と一致していることを確認し、取締役会の説明責任と気候変動のリスクと機会の監視を明確に示す強力な企業統治の枠組みを備えている
- ・パリ協定に沿って、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量を削減するための行動。これには、短期および長期の排出削減目標、投資計画、およびそれらの削減を支援するその他の行動、関連する研究開発および資本的支出が含まれる場合がある

PRIがサポートするパリ協定資本移行評価(PACTA)ツールは、

2°C投資イニシアチブによる分析に基づく無料のオンラインツールである。

株式および債券の発行者を対象とするこのツールは、現在および今後5年間の高排出活動と低炭素ソリューションの両方における企業の投資および生産計画の分析に基づいている。次に、これらは、特定の気候シナリオに向けた道程と一致する、技術とエネルギーの組み合わせと比較される。IEAの2°Cおよび1.75°Cのシナリオを含む、さまざまなシナリオが利用可能である。出力は「技術方向格差」であり、特定のポートフォリオ内の投資および生産計画が特定の気候シナリオとどの程度一致しているかを示す。

この整合性分析は、それ自体が気候変動に関する投資家の目的を満たしている可能性がある。あるいは、ミスアライメントのある領域/セクターのより深い分析を通知するためのツールとして、または製品設計のために使用される場合がある

Paris Aligned Investment Initiativeは、IIGCCが主導し、主要な資産所有者の運営グループと調整している。概念を開発し、方法論を評価し、ポートフォリオをテストする作業は、IIGCCのメンバーの関与と外部の専門家からの意見を取り入れて、IIGCCによって行われる。Paris Aligned Investment Initiativeは、とりわけ以下の3点を創出する

- ・排出量、技術、及び経済シナリオに基づくパリ協定の手順
- ・4つの資産クラス（ソブリン債、上場株式、社債、不動産）に関連する方法論とアプローチの評価
- ・最大5つの実世界のポートフォリオを使用してポートフォリオを調整するための最も関連性の高い方法とアプローチのテスト。投資家に関連する主要な財務指標に対して、時間の経過とともにパリ協定に調整することの影響を予測する

Corporate KnightsとCouncil for Clean Capitalismは、

2018年に、重工業向けのクリーンファイナンスのタクソノミーを発表した。これは、クリーントランジションボンドガイドライン(CTBG)と呼ばれる。

対象となるトランジションカテゴリーは、炭素集約型で、石油とガス、エネルギーユーティリティ、鉱業、金属、セメント、化学薬品、鉄鋼、製錬など他の非化石燃料商品を対象としている。

CTBGは、適格な移行プロジェクトカテゴリーと適格なクリーンプロジェクトカテゴリーを区別している。対象となる移行カテゴリーのプロジェクトは次のとおりである

- ・GHG排出強度を大幅に削減した、よりクリーンな化石燃料の抽出
- ・GHG効率の高い化石燃料精製システム
- ・非化石燃料商品のGHG効率的なプロセス
- ・化石燃料からのコージェネレーション

CTBGは、GHG排出削減の最低レベルに基づいた具体的な適格基準を提供することによってある程度詳細に説明するが、提案された削減がパリ協定の目的と一致するかどうかは明らかではない。

さらに、考慮されるGHG排出量は、各産業のCO2排出量の最も重要な部分であるスコープ3の排出量(製品の使用による排出量)を含んでいない